

動物実験に関する検証結果報告書

大阪青山大学

動物実験に関する外部検証事業

(公益社団法人日本実験動物学会)

2024年3月

大阪青山大学
学長 篠原 厚 殿

貴機関における動物実験の実施体制に関して、提出された自己点検・評価報告書に対する検証結果を通知します。

公益社団法人日本実験動物学会
理事長 三好 一郎



対象機関：大阪青山大学
申請年月日：2023年7月27日
訪問調査年月日：2023年10月26日
調査員：塩谷恭子、佐藤 浩

検証の総評

大阪青山大学は、1967年に大阪青山女子短期大学を前身として創設され、現在では健康科学部、子ども教育学部、介護福祉別科の2学部（3学科）1別科を有する私立大学である。動物実験は健康栄養学科で教育及び研究目的で実施されており、文部科学省の「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針（以下「基本指針」という。）」に適合した、「大阪青山大学動物実験規程（以下「機関内規程」という。）」に基づき、適正に実施されている。動物実験の実施回数は多くないものの、実験動物の飼養保管は、環境省の「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準（以下「飼養保管基準」という。）」を遵守して実施されている。適正な動物実験の実施体制を構築するために、大学をあげてさまざまな取り組みをしている点は高く評価できる。しかしながら、体制の整備が十分でない点も散見される。したがって、今後に向けて、機関内規程の改訂を進め、さらに飼養保管マニュアル等の内容を

充実させるなどして、適正な動物実験の実施体制を構築することを期待する。

検証結果

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 機関による自己点検・評価結果
<input type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程を定めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程を定めていない。
2) 自己点検・評価の妥当性
機関内規程は平成23年10月21日に定められているが、学長の責務の記載がなく、人と動物の共通感染症に係る知識の習得等の項目がない他、委員会名称等細部で統一されていない部分が見られる。したがって、機関内規程について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果
<input type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input checked="" type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
4) 改善に向けた意見
「公私立大学実験動物施設協議会（以下「公私動協」という。）」が公開している、機関内規程の雛形第3版等を参考に、機関内規程の改訂を進められたい。

2. 動物実験委員会

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置していない。
機関内規程に基づき、「大阪青山大学動物実験倫理委員会（以下「動物実験倫理委員会」という。）が設置されている。動物実験倫理委員会は8名の委員から構成され、基本指針が規定する3要件の委員が含まれている。したがって、動物実験委員会について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は設置されているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は設置されていない。
4) 改善に向けた意見
機関内規程の委員会組織に、「その他学識経験を有する者」を含めることを検討されたい。

3. 動物実験の実施体制

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めていない。
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>機関内規程に動物実験計画の立案、申請、審査、結果報告等が定められており、動物実験計画書や動物実験結果報告書等の各種様式も定められている。動物実験計画は、3年度ごとの申請とし、3年度終了時に、動物実験結果報告書が提出されている。したがって、動物実験の実施体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>動物実験の実施に必要な様式類は定められているが、動物実験倫理委員会や学長の決裁欄のない様式もあるため、国立大学法人動物実験施設協議会や他大学等で公開されている様式を参考に、様式の改訂を行うことを検討されたい。</p>

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>安全管理に注意を要する動物実験は行われていない。したがって、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>機関内規程上は、安全管理に注意を要する動物実験の実施は可能であるため、安全管理に注意を要する動物実験の実施予定がなければ、機関内規程の該当部分を削除するなど、整理すること</p>

を検討されたい。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

飼養保管手順書、逸走時の対応、緊急時の対応等は定められているが、その内容に改善の余地がある。したがって、実験動物の飼養保管の体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

飼養保管手順書、逸走時の対応、緊急時の対応等の内容を充実させることを検討されたい。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

動物実験の実施体制が十分でないことを関係者は理解しており、今回の外部検証を経て、適正な動物実験の実施体制を構築しようとする意欲は評価できる。

Ⅱ. 実施状況

1. 動物実験委員会の活動状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。<input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>動物実験計画書の審査に関する議事録は確認できたが、審査内容等の記載が十分ではなかった。また、機関内規程に動物実験倫理委員会の役割として規定している、実施結果に対する助言、教育訓練、自己点検・評価等を、動物実験倫理委員会が適正に履行した記録等が確認できなかった。したがって、動物実験委員会の活動状況について、「基本指針に適合し、適正に機能している。」との自己点検・評価の結果であるが、「概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。」とする。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。<input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>動物実験計画書の審査内容を十分に記録するとともに、機関内規程で定める動物実験倫理委員会の役割を適正に履行されたい。</p>

2. 動物実験の実施状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。<input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>機関内規程に則して、動物実験計画書が動物実験倫理委員会による審査を経て、機関長により承認されている。また、動物実験の結果報告や動物実験の自己点検票も提出されている。したがって、動物実験の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。<input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>動物実験計画書の有効期間が3年であるため、年次ごとの動物実験の進捗状況を把握するために、動物実験の経過報告等を検討されたい。</p>

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていない。</p>
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>安全管理に注意を要する動物実験は実施しておらず、今後実施予定もない。したがって、安全管理に注意を要する動物実験の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <p><input type="checkbox"/> 該当する動物実験が適正に実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験は行われていない。</p>
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>特になし。</p>

4. 実験動物の飼養保管状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>飼養保管施設における、給餌・給水、ケージ交換等の作業は動物実験実施者自身が行っており、概ね適正に実施されている。動物実験責任者が実験動物管理者を兼ねており、実験動物の状態も確認している。したがって、実験動物の飼養保管状況について、「概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。」との自己点検・評価の結果であるが、「基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。」とする。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>特になし。</p>

5. 施設等の維持管理の状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>飼養保管施設の維持管理を行っているものの、一部に改善が必要な部分が認められた。また、温度・湿度等の記録が十分でなく、動物実験倫理委員会による定期的な視察の記録を確認できなかった。したがって、施設等の維持管理の状況について、「基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。」との自己点検・評価の結果であるが、「概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。」とする。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>温度・湿度等の環境条件の記録にロガー等を用いることを検討されたい。また、動物実験倫理委員会として、定期的に飼養保管施設の視察を行い、それを記録することを検討されたい。</p>

6. 教育訓練の実施状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>教育訓練は実施されているが、教育訓練資料を確認できなかった。また、実験動物管理者、実験実施者及び飼養者の別に応じて必要な教育訓練が確保されていなかった。したがって、教育訓練の実施状況について、「基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。」との自己点検・評価の結果であるが、「概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。」とする。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>機関内規程に則り、管理者が教育訓練の資料を適正に整理し保管されたい。また、実験動物管理者に公益社団法人日本実験動物学会が主催する実験動物管理者等研修会を受講させることを検討されたい。</p>

7. 自己点検・評価、情報公開

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>機関の長は、基本指針への適合性・飼養保管基準への順守状況について自己点検・評価を実施している。また、大学ホームページの動物実験等に関する情報のページに、基本指針で例示する情報公開項目が掲載されている。したがって、自己点検・評価、情報公開について、「概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。」との自己点検・評価の結果であるが、「基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。」とする。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>本検証結果報告書も速やかに情報公開されたい。</p>

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

<p>管理栄養士養成機関においては、学生実習等での動物実験の必要性が高く、そのために飼養保管施設等の維持管理に努力し、将来に向けてさらに良い施設にしようとする努力は評価できる。なお、動物実験の実施状況の改善には、最新の動物実験に関する情報の入手や専門家のアドバイスが必要になるので、公私動協に入会することを検討されたい。</p>

日実動学-外検発 第R6-37号-証

検証実施証明書

大阪青山大学
学長 篠原 厚 殿

貴機関は 公益社団法人日本実験動物学会
外部検証委員会による「動物実験に関する
外部検証事業」による自己点検・評価を行い
その結果に対する検証を本委員会が実施した
ことを証します

2024年3月10日

公益社団法人日本実験動物学会
理事長 三好 一郎



No.2023-37

Japanese Association for Laboratory Animal Sciences



CERTIFICATE

President Dr. Atsushi Shinohara
Osaka Aoyama University

Dear President

In every Japanese institution under the jurisdiction of Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology, MEXT, self-inspections and evaluations for the conduct of animal experiment and related activities must be verified by a third party, independent of the research institution concerned.

Japanese Association for Laboratory Animal Science (JALAS) certify that Osaka Aoyama University received "Assessment and Verification Program for Care and Use of Laboratory Animals in 2023".

Sincerely yours

10 March, 2024

Ichiro Miyoshi DVM PhD
DJCLAM
President
JALAS

Chihiro Koshimoto PhD
Chairman
Assesment and Verification
Committee, JALAS